

基準価額が5%以上下落したファンドとその背景について（11月9日）

◆11月9日の基準価額下落について

別表に記載の公募ファンドの11月9日の基準価額は、前営業日比5%以上の下落となりました。

基準価額下落の背景となりました市況動向等、および今後の見通しと運用方針につきご報告いたします。

◆基準価額下落の背景となった市況動向等

11月9日の国内株式市場では、日経平均株価が前営業日比で5.36%下落、TOPIX（東証株価指数）も4.57%下落しました。

この急落の最大の要因は、8日（現地時間）に投票が行われた米国大統領選挙において、民主党のヒラリー・クリントン候補が当選の公算が大きいという事前予想に反して、共和党のドナルド・トランプ候補（以下、トランプ候補）が勝利する可能性が高まったことであると考えています。トランプ候補が勝利した場合、同氏の通商政策は、現在のオバマ大統領が進めるTPP（環太平洋経済連携協定）などの自由貿易拡大政策から、米国の産業保護を優先する政策となる可能性があり、それに伴って世界経済の先行き懸念が急速に強まったことも、市場急落につながったとみています。

◆今後の見通しと運用方針

当面は、トランプ候補が米国大統領に就任した場合、短期的には米国が保護主義的な政策を推進するとの思惑が広がり、為替相場では円高米ドル安の進行があり得るなど、国内株式市場は波乱含みの動きを余儀なくされると考えています。

ただし、米国の雇用統計が比較的堅調に推移するなど、同国の景気は拡大路線を持続しており、今後も米国等の先進国を中心に世界経済は過熱感を生じない程度の緩やかな成長を維持する見込みです。

以上のことを踏まえると、国内株式市場は波乱を交えながらも、次第に底堅い動きに移行すると考えています。

今後も市況動向等に十分注意を払い、引き続きコンセプトに沿った運用を継続していく方針です。

■コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。

■また、将来の市場環境の変化または運用成果等を保証するものではありません。なお、市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

■表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

■当資料の「ご留意事項等」の内容を必ずご覧ください。

<別表>

【基準価額が前営業日比5%以上下落したファンド】

ファンド名	基準価額	前営業日比	騰落率
THE日本株オープン(米ドル投資型)	8,249円	-580円	-6.57%
システム・オープン	7,680円	-454円	-5.58%
インデックス・タイプ(ミリオン)	5,585円	-319円	-5.40%
インデックスファンド225	3,912円	-222円	-5.37%
マイ・インデックス・オープン225	5,242円	-297円	-5.36%
夢楽章 日経平均オープン	11,005円	-623円	-5.36%
三菱UFJ 日経225オープン	10,707円	-606円	-5.36%
<DC>インデックスファンド225	18,450円	-1,044円	-5.36%
三菱UFJ インデックス225オープン(確定拠出年金)	16,030円	-907円	-5.36%
eMAXIS 日経225インデックス	17,552円	-993円	-5.35%
三菱UFJ インデックス225オープン	10,270円	-581円	-5.35%
三菱UFJ 日本株オープン「35」	9,820円	-555円	-5.35%
三菱UFJ <DC>日本株オープン「35」	12,577円	-710円	-5.34%
エネルギー関連日本株オープン	8,388円	-469円	-5.30%
三菱UFJ スタイルセレクト・バリューファンド	10,638円	-590円	-5.25%
日本エネルギー関連株式オープン	8,978円	-497円	-5.25%
日本株バリュー・ファンド	8,649円	-473円	-5.19%
三菱UFJ 日本株ファンド	8,282円	-452円	-5.18%
三菱UFJ 東京関連オープン(米ドル投資型)	9,676円	-528円	-5.17%
三菱UFJ 国内株式ファンド	9,754円	-532円	-5.17%
国際 ジャパン オープン	7,199円	-392円	-5.16%
三菱UFJ 日本株グロースオープン	6,767円	-367円	-5.14%
三菱UFJ スタイルセレクト・ブレンドファンド	8,787円	-472円	-5.10%
割安株ジャパン・オープン	13,798円	-735円	-5.06%
日本株アジア戦略ファンド	14,090円	-743円	-5.01%

※小数点第3位四捨五入

※騰落率は、収益分配金(課税前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(ご参考)

【株式相場】

	11月9日	11月8日	11月8日比	
			騰落幅	騰落率
TOPIX(東証株価指数)	1,301.16	1,363.49	-62.33	-4.57%
日経平均株価(日経225)	16,251.54	17,171.38	-919.84	-5.36%

※小数点第3位四捨五入

※出所: Bloomberg

○「日経平均株価(日経225)」に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。日本経済新聞社は当該ファンドを保証するものではなく、当該ファンドについて一切の責任を負いません。

○TOPIX(東証株価指数)は、(株)東京証券取引所及びそのグループ会社(以下、「東証等」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウは東証等が所有しています。なお、当該ファンドは、東証等により提供、保証又は販売されるものではなく、東証等は、当該ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

■当資料の「ご留意事項等」の内容を必ずご覧ください。

ご留意事項等

【ご購入に際しての留意事項】

◎投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としているため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補完書面等をよくご覧ください。

◎投資信託に係る費用について

(ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。)

■購入時(ファンドによっては換金時)に直接ご負担いただく費用

・購入時(換金時)手数料 … **上限 3.24%(税込)**

※一部のファンドについては、購入時(換金時)手数料額(上限 37,800円(税込))を定めているものがあります。

■購入時・換金時に直接ご負担いただく費用

・信託財産留保額 … ファンドにより変動するものがあるため、事前に金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を表示することができません。

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

・運用管理費用(信託報酬) … **上限 年3.348%(税込)**

※一部のファンドについては、運用実績に応じて成功報酬をご負担いただく場合があります。

■その他の費用・手数料

上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補完書面等でご確認ください。

※その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を表示することができません。

お客さまにご負担いただく費用の合計額もしくはその上限額またはこれらの計算方法は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三菱UFJ国際投信が運用するすべての公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補完書面等をご覧ください。

【当資料のご利用にあたっての注意事項等】

■投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。／銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

■クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご注意ください。

■投資信託は、書面による契約の解除(クーリング・オフ)の適用はありません。

■当資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。

■当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

設定・運用 … 三菱UFJ国際投信株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

■当資料の「ご留意事項等」の内容を必ずご覧ください。

皆様の投資判断に関する留意事項

【投資信託のリスク】

投資信託は、株式や公社債など値動きのある証券等（外貨建資産に投資する場合は為替リスクがあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。従って、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた損益は、すべて投資者の皆様に帰属します。

【留意事項】

- ・ 投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- ・ 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ・ 投資信託の収益分配は、各ファンドの分配方針に基づいて行われますが、必ず分配を行うものではなく、また、分配金の金額も確定したものではありません。分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

【お客様にご負担いただく費用】

■お客様が購入時に直接的に負担する費用

購入時手数料：購入価額 × 購入口数 × 上限 3.78%（税抜 3.5%）

■お客様が換金時に直接的に負担する費用

換金時手数料：公社債投信 1 万口当たり上限 108 円（税抜 100 円） ※その他の投資信託にはありません

信託財産留保額：換金時に適用される基準価額 × 0.5%以内

※T&D「Jリートファンド 限定追加型 1402」（当初申込時無手数料）についてはご換金時期により信託財産留保額 3.0%～0.5%（平成 33 年 6 月 1 日以降は無料）をご負担いただきます。

■お客様が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担：純資産総額×実質上限年率 2.5704%（税抜 2.38%）

※実質的な負担とは、ファンドの投資対象が投資信託証券の場合、その投資信託証券の信託報酬を含めた報酬のことをいいます。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。

その他の費用

※上記の他に、組入有価証券等の売買に係る売買委託手数料、監査費用、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産から間接的にご負担いただく場合があります。これらの費用・手数料等は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。

- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額若しくはその上限額又はこれらの計算方法を示すことはできません。

- 上記のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。各費用項目の料率は、販売会社である香川証券株式会社が取扱うすべての公募投資信託のうち、最高の料率を記載しております。投資信託のリスクや費用は、個別の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に、個別の投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」の【投資リスク、手続・手数料等】をご確認ください。

【香川証券株式会社】

商号等 香川証券株式会社

登録 金融商品取引業者 四国財務局長（金商）第 3 号

加入協会 日本証券業協会